

草原再生

子供たちへ引き継ぐ千年の草原

No.5

阿蘇草原再生ニュースレター
2004.12

草小積み

秋に刈って束ねた干し草を小高く積み上げたもので、冬場の牛の餌などに利用される。昔の草原に残る草小積みは阿蘇の風物詩の一つだが、最近は姿を消しつつある。

阿蘇の草原再生をめざして

阿蘇フォーラムまるごとフェスタに参加し、草原再生への取り組みをアピール！

阿蘇の農業生産者・住民と都市住民との年に一度の交流の祭典「阿蘇フォーラムまるごとフェスタ」が、平成16年10月30、31日の二日間にわたり国立阿蘇青年の家にて開催されました。4回目を迎える今年、環境省も主催者の一員として参加しました。

一日目は、湯布院賑わいの仕掛け人中谷健太郎氏に「人が地域をつくる」と題しての基調講演をいただいた後、環境省から、草原のすばらしさや危機に瀕している草原の現状、草原の再生に向けた取り組みなどを紹介しました。参加者もスクリーンに映し出される映像に、うなずきながら

真剣に見入っていました。これに続く「3分間熱血主張バトル」では、阿蘇で夢を追いかける10人の若者たちが次々と現れ、会場を大いに沸かせました。

また、二日目に開かれた「阿蘇見本市」では、阿蘇草原再生のパネル展示と野草を使った農産品の販売を行い、草原の大切さと保全の必要性をアピールしました。



湯布院30年のまちづくりを振り返りながら、阿蘇への期待を語る中谷健太郎氏

フォーラムの概要

プログラム:

[1日目] 阿蘇自由学校「若者たちの阿蘇」

- 基調講演：中谷 健太郎氏
- 環境省 阿蘇草原再生プロジェクト
- 3分間熱血主張バトル&コンテスト
- 大噴火討論会 ほか



聴衆の投票により入賞した4名には、今後一年間阿蘇フォーラムによる支援活動が行われます。

[2日目] 阿蘇見本市

阿蘇のNPOや各種団体、名人・特産品が大集合



2日目の見本市では、NPOや活動グループなどによる展示・販売コーナーの一角に、阿蘇草原再生のブースを設置。堆肥として阿蘇の野草を使った農産品約100袋を完売しました。

主催：阿蘇フォーラム・阿蘇フォーラムまるごとフェスタ実行委員会、国立阿蘇青年の家、環境省